

大会レギュレーション

2016/12/30

2017/04/28 改訂（改訂箇所は、次の改訂までの間は赤字で記述されます）

2018/02/09 改訂（改訂箇所は、次の改訂までの間は赤字で記述されます）

人数規約

参加者

大会は参加者が4人以上の場合のみ成立します。

審判

大会には最低1人の審判が参加者とは別に必要です。

但し、参加者がちょうど4人となる場合に限り、審判は参加者を兼ねても構いません。

大会形式

運営方法

大会の形式は原則的にスイスドローとなります。スイスドローについてご存じない場合は、以下のアドレスをご参照ください。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%82%A4%E3%82%B9%E5%BC%8F%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88>

但し、参加者の人数が少ない場合は総当たりとしても問題ありません。

決闘ルールと修練ルール

大会では原則的には決闘ルールが使用されます。但し、初心者に向けた大会では修練ルールを使用しても構いません。

使用できるカード

初版のみに含まれるカードは使用できません。また、初版と第二幕で内容が異なるカードは、第二幕の内容に準拠します。

公式サイト、公式ブログ上で発表されたエラッタは全て適用されます。第二幕以降で適用されているカードは、以下の通りです。

「飛苦無」「毒針」「流転の霞毒」 (<http://bfpblog.bakafire.main.jp/?eid=51>)

「足捌き」「雅打ち」 (<http://bfpblog.bakafire.main.jp/?eid=75>)

「梳流し」「審美眼→点睛」「忍歩」「立論」「壮語→抗弁」「円舞錬」「地脈収束→引力場」「もじゅるー」 (<http://bfpblog.bakafire.main.jp/?eid=98>)

「守護靈式」「義旗共振」「そして四季は廻る」「塵の左手」「遺灰呪」
(<http://bfpblog.bakafire.main.jp/?eid=122>) (<http://bfpblog.bakafire.main.jp/?eid=144>)

参加者の持ち物

参加者は以下のもの全てをご持参頂く必要があります。

- ボード2枚
- 桜花結晶32個
- 集中力カード1枚
- **自分が使用するメガミのカード全て**

(主催者側が用意できる場合は、申込に際してコメントに特記してください。公式大会では、ボードと桜花結晶は大会側が用意します)

試合中のルール

双掌繚乱のルール

メガミの選択は原則的には以下のいずれかとし、特記ない限りは通常選択とします。それ以外の方法による大会は可能ですが、その場合は申し込みの際にコメントに特記してください。

通常選択

大会の受付時にメガミ 2 柱を申請します。そして、大会中は常にその 2 柱を使用します。1 試合 1 回勝負です。

随時選択

大会の試合ごとにメガミを選択します。双方のプレイヤーは秘密裏に選び、同時に公開します。1 試合 1 回勝負です。

簡易神話大戦

この形式の大会は 3 回戦に限られます。全勝した全てのプレイヤーが優勝と扱われます。

大会の受付時にメガミ 6 柱を申請します。各試合において、双方のプレイヤーは使用できるメガミから 2 柱を秘密裏に選び、同時に公開します（この際に、どのメガミが現在使用可能かどうかは見るができます）。そして眼前構築と桜花決闘を行います。1 試合 1 回勝負です。

各試合の勝敗に寄らず、使用したメガミにはチェックが付けられ、以降の試合では使用できなくなります。

三拾一捨

大会の受付時にメガミ 3 柱を申請します。双方のプレイヤーは各試合でそれらの 3 柱を対戦相手に渡します。次に対戦相手から受け取ったタロットから 1 柱を取り除き、対戦相手へと返します。そして、自分へと帰ってきた 2 柱を使用します。（注意：このルールは上級者向けです）1 試合 1 回勝負です。

神話大戦

大会の受付時にメガミ 6 柱を申請します。双方のプレイヤーはそれらの 6 柱から 2 柱を秘密裏に選び、同時に公開します。そして眼前構築と桜花決闘を行います。

その決闘の勝者は使用した 2 柱を取り除きます。結果、一方が 4 柱、もう一方 6 柱を持った状態になります。続けて双方のプレイヤーは残るメガミから 2 柱を秘密裏に選び、同時に公開し、同様の決闘を繰り返します。

最終的に、先に3勝し、全てのメガミを取り除いたプレイヤーが勝者となります。

(警告：このルールは超上級者向けであり、1試合が最大で3時間程度かかります)

試合時間のルール

1試合の時間は40分で、眼前構築5分と、桜花決闘35分となります。

初心者に向けた大会では眼前構築の時間を延ばし、8分程度とすることを推奨します。

眼前構築が残り1分となった時点と、桜花決闘が残り10分となった時点で、審判はアナウンスを行うことが推奨されます。

時間内に眼前構築が終わらなかった場合、使用しているメガミ2柱のカード全てを合わせ、その中から無作為に7枚の通常札と、3枚の切札が選ばれます。

時間内に桜花決闘が終わらなかった場合、現在進行中のターンの次のターンまで行い、その時点でライフの多い方が勝者となります。同値の場合はさらに次のターンを行い、ターンの終了時にライフに差が付くまで続けます。その際、会場の都合などでターンの継続が難しい場合、審判は引き分けと裁定しても構いません。

試合前または試合開始から5分以内に限り、審判は特定の試合を時間無制限としても構いません。その際には、その試合に参加しているプレイヤー双方の合意を取ることを推奨します。

試合中に見られるもの

本品ならびに公式サイトで配布されているカードリストを除き、試合中にメモを見ることは認められません。カードの効果を参照するために、対戦相手に断ったうえで実物のカードを見ることは認められています。実物のカードがない場合、審判の立会いの元であれば正確なカードテキストを参照するために Web サイト上のカードリストを見るものが認められます。

反則、非紳士的行為、禁止事項について

大会の審判はゲーム中の不当な操作、不当な遅延行為、非紳士的行為に対して、注意ならびに独自の裁定によるゲームへの操作を行うことができます。あるプレイヤーが複数回の注意を受けても改善されない場合、審判はそのプレイヤーを敗北させることができます。

勝敗の譲渡や意図した引分は合意の有無を問わず禁止されています。そのような事態が発覚した場合、審判はそれらのプレイヤーを失格とすることができます。

全国大会予選など、順位を厳格に計算する必要がある大会においては、やむをえない事情と失格を除き、大会途中での棄権は認められていません。そうでない大会では各試合の間に審判にその旨を伝えることで大会から降りることができます。

賞品と参加賞

大会の優勝者には以下のプロモーションタロット1枚が贈られます。また、16人以上の参加者がいる場合は合計2枚を、32人以上の参加者がいる場合は合計3枚を、勝率に準じた定め方で決められた複数のプレイヤーに配布することができます。

～2017年5月14日：ヒミカ

2017年5月15日～2017年11月30日：トコヨ

2017年12月1日～：ユキヒ

大会への参加者にはポストカードを1枚お贈りします。

大会によっては、それ以外の賞品が用意される可能性もあります。